

## 第4学年2組 外国語活動 学習指導案

日時 令和4年9月6日(火) 5校時

授業者 福永 祐一郎 場所 4年2組教室

### 1 単元名 Unit 5 Do you have a pen?

### 2 単元目標

文房具などの身の回りの物の名前を聞き取ることに慣れ親しみ、自分が考えた文房具セットについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことに慣れ親しむことができる。

### 3 言語材料

【表現】 Do you have~? Yes, I do. No, I don't. など

【語彙】 身の回りの物、状態、気持ち、形、色、数 など

### 4 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ア ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取ることができる。
話すこと（発表）	ア 身の回りの物について、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。

### 5 単元設定の理由

本単元は、文房具などの身の回りの物や持ち物を尋ねたり答えたりする表現を音声によって十分に慣れ親しんだ後、文房具など学校で使う物について、尋ねたり答えたりして伝え合う活動で構成されている。単元の前半で十分に音声によって慣れ親しんだ表現を用いることで、自分の考えを伝える基本的な表現に慣れ親しむことができると考える。

本学級の児童は、男子13名、女子14名、計27名の学級である。3年生から外国語活動の学習を始め、外国語の学習に対して前向きな児童が多い。3年生で学習した英語表現を休み時間などの生活場面で話す姿も時折見られる。また、全体の1割程度の児童が英語の学習塾に通っているため、未習の内容についても率先して考えを発表する場面も多い。しかし、外国語を話す意義を見い出せなかったり、自分の話す英語に自信がもてなかったりして意欲的に外国語を話すことができていない実態がある。

指導にあたっては、ALTと連携して児童が英語で伝えたいような言語活動の具体的な目的・場面・状況を設定し、児童が進んで言語活動に取り組めるようにする。具体的には単元末にALTに日本の文房具について紹介する場面を設定する。日本語が得意でないALTに文房具を紹介させることで英語を使って伝える意義を実感させていく。また、単元の前半で十分に音声によって表現に慣れ親しませるとともに、授業の前半で既習事項の振り返りの時間を確保する。本単元で学ぶ表現に加え、これまでに学習した英語表現の中で自分の思いをできるだけ相手に伝えられるように、いくつかのパターンを示して指導をしていく。加えて、CAN-DOリストに基づいたワークシートを使って、「聞くこと」、「話すこと」に関する自分の達成度を振り返らせることで自分の達成感や相手に伝える喜びや楽しさを実感できるようにしていく。

## 6 手立て

- ① 単元の初めに、ALT に海外の文房具や身の回りの物を紹介してもらい、日本と海外の文化の違いについて児童に気付かせることで文化の違いから日本の文房具を紹介したいという意欲をもたせる。
- ② 単元末に ALT に身の回りの文房具を紹介するという言語活動を設定し、英語で伝える意義をもたせる。
- ③ 毎時間授業の冒頭で、音声によって慣れ親しむ時間を確保する。
- ④ 自信をもって伝えられるように黒板に紹介するパターンを掲示する。
- ⑤ CAN - DO リストを活用し、単元を通して自分ができるようになったこと、課題に対する達成度を振り返らせ、外国語に対する自信をもたせる。

## 7 単元計画 (全4時間 本時 3/4時間)

	◎ めあて ○ 学習内容
1	◎ 世界の文房具について知ろう。 ○ 世界の文房具について ALT との Small Talk →Small Talk を見て、外国と日本の文化の違いに気付く。 ○ Let's Watch and Think ① →活動を通して文房具や数の語句の確認を行う。 ○ Let's chant →活動を通して本単元の表現について慣れ親しむ。 ○ Let's play 1 →活動を通して色や形状といった特徴の表現について慣れ親しむ。
2	◎ ALT に紹介したい文房具セットを決めよう。 ○ Let's Watch and Think② →活動を通して単元末に ALT に文房具を紹介する自分の姿を想像する。 ○ Let's chant →活動を通して本単元の表現について慣れ親しむ。 ○ Let's Listen →活動を通して文房具の英語を聞くことに慣れ親しむ。 ○ Let's play 2 →ALT に紹介する文房具についてカードを選ぶ。
3 (本時)	◎ 友達に自分の文房具セットを伝えよう。 ○ Small Talk ○ Let's chant →活動を通して本単元の表現について慣れ親しむ。 ○ Activity →前時まで選んだ文房具カードの中で一押しを選ぶ。 →友達と互いの発表する内容を伝え合う。 →聞き方や相槌の仕方について確認する。
4	◎ ALT に日本の文房具セットについて紹介しよう。 ○ Small Talk ○ Let's chant →活動を通して本単元の表現について慣れ親しむ。 ○ Activity →ALT に文房具を紹介する。

8 本時の目標

自分の文房具セットを友達に伝えることができる。

9 指導過程

機	学習活動・学習内容	時間	○指導上の留意点 ◇手立て ●評価
導入	<p>1 Greeting</p> <p>2 Small Talk</p> <p>T Do you have ~?</p> <p>C Yes, I do./No, I don't.</p> <p>I have~.</p> <p>T Nice ! I have~.</p> <p>T I like~.                     など</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>Today's goal(めあて)</p> <p>自分の文房具セットを友達と伝え合おう。</p> </div>	<p>3 (分)</p> <p>5</p>	<p>○ 毎時間行っている英語でのあいさつを行い、外国語活動を始める雰囲気をつくる。</p> <p>○ 教師と Small Talk しながら、Today's goal を確認させる。</p> <p>○ 本時で友達と行う活動を教師と一緒にすることで活動の見通しをもたせる。</p> <p>○ 次時には ALT に実際に発表すること伝え、学習の見通しをもたせる。</p>
展開	<p>3 Let's Chant</p> <p>Do you have ~?</p> <p>Yes, I do./ No, I don't. など</p> <p>4 Activity</p> <p>(1) 紹介する文房具カードを確認し、その中から一押しを決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 紹介したい理由について考える。</li> </ul> <p>(2) ペアで文房具を紹介し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教師と児童のモデルを見る。</li> <li>・ 児童同士で紹介したい文房具セットについて伝え合う。</li> </ul> <p>C1 Do you have a pen?</p> <p>C2 Yes, I do.</p> <p>I have two pens.</p> <p>C1 Nice ! Me too !</p> <p>I have a pen.</p> <p>I like red !                     など</p>	<p>7</p> <p>8</p> <p>15</p>	<p>◇ Chant を通して、本単元で学ぶ表現に十分に慣れ親しませる。(手立て③)</p> <p>○ 楽しく活動を行えるように簡単なゲームを行ったり、ジェスチャーを交えたりしながら行わせる。</p> <p>○ 教師と児童での Small Talk を交えながら、表現したいことで困っていることはないか確認し、全体で考える場面を取り入れる。</p> <p>○ 書き出せない児童については Small Talk の中で既習事項についても触れ、相手に伝えるための表現を復習させる。</p> <p>◇ 伝えることに対する不安感を軽減するためにいくつかのパターンを黒板に掲示する。(手立て④)</p> <p>○ Good !、Nice !、Me too.などの相槌や復唱しているペアを取り上げ、全体で共有する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>● 自分の文房具セットについて友達に伝えることができる。(観察)</p> </div>
まとめ	<p>5 Today's comment</p> <p>(1) 本時の振り返りをワークシートに記入する。</p> <p>(2) 次時の見通しをもつ。</p>	<p>7</p>	<p>◇ 本時の学習についてワークシートに記入させ、振り返らせる。(手立て⑤)</p> <p>○ 次時には ALT に紹介することを再度確認し、次時への意欲をもたせる。</p>